

コンフリクトミネラル(紛争鉱物)に関する基本方針

コンゴ民主共和国(DRC)やその隣接国を含む紛争地域および高リスク地域(CAHRA)で採掘された ”金、錫、タンタル、タングステン、コバルト、マイカ” のいわゆる紛争鉱物を使用することは、それらの一部を武装集団による人権 侵害や児童労働、武器購入の資金源に利用されることが国際的に大きな社会問題となっており、産出国近辺での紛争に協力しているとみなされることが懸念されます。

IMC グループおよび NTK カuttingツールズ(株)は、製品の製造に使用する原材料に含まれる ”金、錫、タンタル、タングステン、コバルト、マイカ” の有無とその精錬業者について把握し、同地域の武装集団の活動を助長することのないよう責任ある調達活動を推進しています。

具体的には、原材料のサプライチェーン全体で責任ある調達活動を行うため、経済協力開発機構(OECD)の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・デリージェンスガイダンス」に則って活動しておりますので、お取引先様においても RMI (Responsible Minerals Initiative) 等の第三者機関からコンフリクト・フリーの認証を受けた製錬所を由来とする原材料の使用、およびそれらを使用した製品の調達に取り組まれることを推奨しお願い申し上げます。